

基幹的防災倉庫を整備

～災害時における防災体制の強化と物資供給の迅速化を図ります～

1 目的

災害時における防災体制の強化と物資供給の迅速化を図るため、庁舎東館跡地に基幹的防災倉庫を整備するとともに、既存倉庫の備蓄品の配置を再編します。

2 概要

(1) 基幹的防災倉庫の整備

災害対策本部を設置する防災の拠点であり、職員や公用車など災害対応のための資源が充実している市庁舎の隣接地に、基幹的防災倉庫を整備します。



- 敷地面積 1,014.68 m²
- 防災備蓄倉庫 4棟
83.85 m² × 2棟
72.3 m² × 1棟
54.23 m² × 1棟
- ※ その他、公共用地整備用の備品倉庫を整備予定
60.75 m² × 1棟



防災倉庫イメージ

(2) 備蓄品の配置場所の再編

新設する基幹的防災倉庫を始め、既存の不二ガ丘防災倉庫及び知多防災倉庫を、その地域の物資供給の拠点として位置づけ、備蓄品の配備品目や数量の再編を行います。

(3) 資器材の整備

備蓄品の荷役作業を効率的に行うため、必要な資機材を整備します。

基幹的防災倉庫	収容棚、パレット、ハンドフォークリフト、ハンドリフト
不二ガ丘防災倉庫	パレット、ハンドフォークリフト、ハンドリフト
知多防災倉庫	パレット、ハンドリフト

3 効 果

各倉庫の立地を踏まえて備蓄品の配置を再編することで、必要な物資を必要な場所へより迅速に供給できるようになります。また、備蓄品をパレット単位で管理し、ハンドリフト等を活用することで、物資の搬入・搬出時的人的負担や作業時間の削減を図ります。

4 整備時期（予定）

基幹的防災倉庫のしゅん工 令和8年8月

※ 備蓄品の再編は、しゅん工後に実施

5 予算額

(1) 基幹的防災倉庫整備（継続費） 85,000千円

令和7年度 40,000千円（序舎東館の解体）

令和8年度 45,000千円（基幹的防災倉庫の整備）

(2) 資器材の整備 6,413千円

基幹的防災倉庫用棚、ハンドリフト5台、ハンドフォークリフト3台、
パレット250枚、パレット用包装フィルム

問い合わせ 総務部市民安全課 TEL 0568-85-6072

総務部総務課 TEL 0568-85-6073